

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 17 日作成)

委員会名	ごみ処理設備性能 WG	主 査 名：関 五郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境小委員会)	委員長名：鉾井 修一
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建物から排出される廃棄物及びごみ処理設備の計画を行うための設計用原単位データを収集すること、計画手法を確立することを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	関五郎(㈱日建設計)井田光俊(office I・D・A)大塚雅之(関東学院大) 井澤勇八(住商ビルマネージメント)田村誠一(都市環境エンジニアリング) 磯部絵美(都市環境エンジニアリング)輿水知(大成建設㈱)間宮 尚(鹿島建設) 新村浩一(三機工業)豊貞佳奈子(東陶機器)松下幸之助(東陶機器)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	45,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2002.6.11(3)7.23(2)9.27(8)10.22(7) 11.25(6)12.18(4) 2003.1.22(6)2.27(6)4.23(7)5.28(6)7.2(7)7.23(7)8.28(8)9.24(8)10.28(7)11.25(5)12.18(8) 2004.1.29(7)2.26(6)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2 年間を通し、当初目的である、ごみに関する排出データ収集及び建物におけるごみ処理システムの現状について、文献調査・東京 23 区清掃一部事務組合に対しての公共データの開示請求・運用面実態調査等を実施し、最近の傾向を把握することができた。 また、その成果については報告書を作成。次年度以降の継続研究のための基礎データとして活用する予定である。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 次年度以降も、本ワーキング・グループは環境社会に貢献対応すべく継続研究を行う予定であるが、当初目標であった建築環境分野のごみ処理施設計画のためのアカデミックスタンダード整備における基礎データ収集及び計画手法について、十分な論議ができた。
その他評価すべき事項	